ＡＡ日本ニューズレター No.209

■ A類常任理事　就任の挨拶 （2022年4月1日付就任）

＊－＋－＊－＋－＊－＋－

■B類常任理事就任の挨拶 （2022年2月8日付就任）

＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋

良心に導きを得ながらリーダーシップを発揮したいと思います

全国選出枠　出版担当　小谷

2022年第27回 AA 日本評議会にて欠員補充選挙で全国選出B 類常任理事に信任頂いた小谷と申します。関西地域、京都地区の洛陽グループのメンバーです。2007年ソーバースタートですから14年半のソブラエティーを頂いて居ります。しかし私がAAを知ったのは58歳でしたから随分遅咲きのメンバーだと思います。

40年近い問題飲酒の末、東京都下の精神病院に入院。入院中に AA ミーティング通いが始まり退院日にホームグループでメンバー宣言を致しました。アルコール依存症、AA について何の知識も無かったのが良かったのか悪かったのか。まさかそれから毎日ミーティングに出続け AA に関わり続けるとは思いも寄りませんでした。

私のスポンサーが評議会機構に関わって役割を果たしていたのが影響しているのかも知れませんが代議員、地区委員、評議員を経験させて頂きました。その間、病院、矯正施設へのメッセージ、関西セントラルオフィス付の小委員会に参加致しました。2020年開催されるはずだった AA 日本45周年記念集会実行委員会には立ち上げ準備会から中止決定まで参加致しておりました。

2021年10月欠員補充選挙の知らせを受け取り何故か気になって居りました。2015年～16年の評議員経験を通し、（私には常任理事は荷が重すぎる。責任を全う出来ないのでは？いや今までの役割もそう考えていたではないか？しかし常任理事は今までとは立ち位置が違うようだ…）と考えが逡巡致しましたが、今の私が存在するのは回復、一体性、サービスと言われる三つの遺産（レガシー）が引き継がれていたからこそと考えると、私も責任を果たしたいと考えを改め立候補の決心を致しました。結果、集合的良心によってやってみなさいと言われた訳です。概念9には『良いサービスリーダーは、我々の将来の機能と安全のために…中略…アルコホーリクス・アノニマスの常任理事に必ず引き継がれなければならない』と有ります。私は AA という共同体で新しい命を貰った。常任理事としてグループの良心に誠実でありたい。常任理事会は評議会勧告事項を執行する機関です。良心に導きを得ながらリーダーシップを発揮したいと思いますが、このサービスは必要かどうか？と言う事、何より今苦しんでいる仲間に、そしてこれからアルコホーリクとして生まれてくる仲間に、視線を当てて行きたいと思って居ります。

私は前任者の残りの任期ですから2024年3月31 日迄です。役不足で有る事は十分承知して居りますが皆さまにお力添えを頂ければ幸いです。AA 日本の存続と機能の為に全力を挙げるつもりです。どうぞ宜しくお願い致します。

■B類常任理事就任の挨拶 （2022年4月1日付就任）

＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋

誠心誠意、誠実に取り組んでいきたいと思っています

西日本圏選出枠　矯正・保護施設、BOX-916 担当　佐々木

第27回評議会で西日本圏選出 B 類常任理事に信任を頂きました佐々木です。ニックネームは”けんしろう”、ソーバーは22年、ホームグループは九州・沖縄地域大分地区 iRis グループです。

【矯正・保護施設担当】

今月、九州・沖縄地域矯正・保護施設委員長と、長きに渡り矯正に尽力してくれているメンバー2人からお誘いを頂き、法務省九州地方更生保護委員会に訪問しました。

当日は委員長、事務局長、統括審査官、統括指導官の4人の方にお会いする事が出来、ご挨拶とお話をさせて頂きました。お話をさせて頂く中で改めて出口支援における AA の役割を痛感し、この経験を今後の理事活動にも活かしていきたいと思います。

第27回評議会では議題 2-2「全国 8 地域、持ち回りで矯正・保護施設フォーラムを開催する」が勧告されました。コロナ過の現状が不透明でもあり、2023年はオンライン開催を計画しています。

【BOX-916 担当】

BOX-916 は献金によって制作され、その購読料はもちろん、今苦しんでいるアルコホーリクに手を差し伸べる事に活用されています。 BOX-916 は毎号の表紙に書かれている通り、『回復のための誌上ミーティング』として全国の仲間ひとりひとりの経験と力と希望を分かち合う場であり、AA の良き友人、医療・行政関係者への広報活動としても使って頂ける『AA 日本の情報誌』でもあります。

まだ見ぬ仲間たち、今もなお苦しんでいるアルコホーリク、一人でも多くの仲間に BOX-916 が届けられるよう、そして、一人でも多く仲間に希望の光を照らせるよう、今まで以上に身近な BOX-916 として活用して頂けるよう、今後、活動していきたいと思います。

最後に、第28回評議会に向けたテーマが「デジタル時代にAAのメッセージを運ぶ」となりました。デジタル時代に AA の愛とサービスの輪が今まで以上より多く広がる事を願いつつ、自分自身に与えられた役割に誠心誠意、誠実に取り組んでいきたいと思っています。これから宜しくお願い致します。

―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ――

建設的文句や質問も大歓迎します

全国選出枠　財務担当　湯澤

2022 年 4 月 1 日より、全国選出 B 類常任理事となりました、湯澤です。財務担当となり、出版と広報のお手伝いもします。また、東日本圏サービスフォーラムの実行委員会ではプログラム担当となりました。一緒に活動する理事や WSM 評議員、JSO スタッフ、全国各地の評議員、サポーターのメンバー達の熱意ある温かいエネルギーとともに、素敵な時間を過ごす機会を頂いています。お陰様でたくさん新しいことを学んでいます。私が理事として活動することを承認して下さった皆様に、心から感謝致します。

私はAAメンバーで中部北陸地域　愛知地区　名古屋東Gのマナです。ソーバーは26年、暦年齢は64歳、現在も現役で医療関係の仕事をしています。

AAを取り巻く社会変化（コロナ過をきっかけに急速に広がるデジタル化、医療でのアルコール依存症治療の変化等）に伴い、私達AAが変わっていく必要があることや変えてはいけないことを考える大きな転機にいることを感じます。こうしたターニングポイントを全国の仲間とともに考えていきたいと思い、今回立候補致しました。

また、4月に財務担当と決まった時、約20年前アメリカ・カナダのB類常任理事が日本の評議会で、「目的をきちんと伝えることができれば、必ず献金は集まります」と言われたことを思い出しました。献金の使いみちを理解してもらうことで、AAメンバーからの持続的な金銭的奉仕を得るように努力し、ゼネラルサービスが提供する12番目のステップ活動を活性化していくことを目指します。

このためには、全国のAAメンバーの皆さんやAAの友人の皆様の協力が不可欠です。今回退任された理事経験者より、『すべての土台は信頼とコミュニケーションだった』という言葉を頂きました。この言葉を肝に命じて、これからの4年間を全うする所存です。

何卒、ご支援とご協力をよろしくお願い致します。また、建設的文句や質問も大歓迎します。

―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ――

この役割に喜びも感じています

ゼネラルサービス枠　議事（評議会）、JSO担当　塩見

第28回評議会において、ゼネラルサービス選出枠で信任していただき、4月より役割を就任いたしました塩見です。常任理事会の中では、第1分科会、議事（評議会）、JSO、ﾆｭｰｽﾞﾚﾀｰを担当することになりました。ホームグループは東関越地域埼玉東地区大宮グループです。ニックネームは“わたる”です。

立候補を表明したときから、このような役割を務めることが出来るのか、重圧と不安でいっぱいでした。これはコロナ禍だからだ、年齢による加齢のせいかもしれない、根拠のない自分勝手な理由付けをしていました。今、飲まないでいるわけですから、ハイヤーパワーに委ねたほうがより上手くいくのでは？と、思いを修正しました。

ゼネラルサービスに関わったのは、ソーバー5年目位に代議員になった時で、その頃はメンバーも大勢いてやっと順番が回ってきたという感じでした。その後、周りの仲間が役割を終えるたびに、お声がけをしてくださり、地区・地域へのサービス活動の役割を務めさせていただきました。

それぞれの役割を終えたときに、「まだ何か出来たのではないか、もっとこうしておけば良かったのではないか」等、悔やんでも仕方がないことが思い当たります。新たな役割を務める前でも「その役割がどういうものなのか」も分らないことが多くありましたので。

地域議長の時でした。地域ラウンドアップで模擬評議会の企画があり、その中で「何故、評議会が必要なのか」（評議会報告書の裏表紙の裏にも掲載）を朗読させて頂きました。

そのときにお誘いがあり、2017年の地域評議員に選出され、第22回評議会に出席しました。翌年の第23回では、第1分科会議長を経験させて頂きましたが、大きな課題の1つに、常任理事会準則と法人の定款をより以上に一致させる議論がありました。

これをメンバーに報告するために、12の伝統や12の概念を改めて読み込み、サービスマニュアルを参照し、議題を読み返して…と、自分が理解するために時間を掛けて準備し、報告会ではホワイトボードにAAの逆三角形の説明から始めて、場合によってはサービスに関する書籍を引用、頒布して…。と、大変に苦労しました。忘れられない良い経験をさせていただきました。

今回は、その役割がどういうものなのかも含め経験によって少しだけ理解をさせていただきましたので、勧告事項に従いじっくりと取り組んでまいりたいと思います。

あのころ「10年後位には別の法人が立ち上がっているかもしれません」と話していた仲間がいました。今年の評議会では、一般社団法人に関する議題も挙がりました。この流れを引き継ぐことができ、この役割に喜びも感じています。

■WSM評議員退任と就任の挨拶

＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋

感謝と今後の課題としたいこと

（2022年3月31日付退任）　**前WSM評議員　星**

皆さんのバックアップによって、とりわけ家族の手助けを受けながら、今回WSM評議員の任期をなんとか無難に過ごせたことに感謝いたします。とは言え、私自身の感想は無難どころではなく、かなりの暴風が吹き荒れた中をなんとか過ごしてきた、そういう感じです。

任期の前半は、AA人として世界と日本のAAの間の架け橋となろうと精一杯過ごさせてもらえたと感じています。ところが、後半になると世界的な新型コロナのパンデミックによってニューヨークで開かれるはずの第26回WSMがオンライン開催となりました。また、翌年のインドで開かれるはずのAOSMもオンライン開催となってしまいました。どうしても直接顔を合わせてのサービス・ミーティングとは異なるところが多くなってしまいました。もちろん、力を入れたものはたくさんあって、それは皆さんに報告させてもらいましたが、やはり残念な気持ちがどうしても残る後半2年でした。

その中でも、特にお伝えしたいことは、オンラインによるプラス面でしょうか。第26回WSMでは、かなりの参加評議員さんがオンラインを当たり前のこととして今後のサービス活動、メッセージ活動などの中に組み込もうとしていた姿を見せてもらいました。そして特にAOSMでは、今までAOSMの間の評議員としての活動はほとんどなされていませんでしたが、今回は特にいろいろな委員会活動が何回も開かれて事前のやりとりが活発になされていたことは特筆すべきことではないでしょうか。特に国際関係の分かち合いなどはオンラインだからこそ活発に行われる可能性があることを見せてきてもらいました。

おそらく、オンラインだからこそ実際の姿を見せてもらうことができたのでしょうが、世界の各国は自分のところにあったサービス機構を築こうとしてきています。北米（アメリカ合衆国・カナダ）は出版物などで初めてAAがうまく機能してきた見本となっていますが、まさに伝統 4 が世界各国では生かされている気がします。私自身の想定（日本のAAメンバーは 10 万人ぐらいになるはずだ）はまだありますが、それでも現在の情勢の元で精一杯のサービスができていると思うのです。アメリカ「では」とか、イギリス「では」などとうまくいったと思える事例ばかりを取り上げるのではなく、日本は日本独自のサービス機構を築いてきている、そう胸を張っていいのではないでしょうか。

―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ―― ――

WSM 評議員就任のご挨拶と WSM について

（2022年4月1日付就任）**WSM評議員　大迫**

【はじめに・自己紹介】

このたびワールドサービス・ミーティング（通称：WSM）前期評議員に選出された大迫です。任期は 2022 年 4 月から 4 年間となり、前半 2 年間は後期のグルーディさんと 2 人で務めさせて頂きます。

WSM 評議員の主な役割は、日本の AA の代表として隔年(偶数年)に開催される WSM と、その間の奇数年に開催されるアジア・オセアニア・サービスミーティング（通称：AOSM）への参加と報告のほか、年間を通じての AOSM 分科会活動、各国 WSM・AOSM 評議員との情報交換、各国サービスオフィス経由の相談や依頼対応等となります。

私は 2007 年 11 月に AA に繋がり、現在 13 年間飲まない生き方を頂いています。東京在住で 51 歳、職業は会社員で総務の仕事をしており、5 年前に結婚した AA メンバーの妻と二人暮らしです。AA で与えられた新たな生き方に感謝しています。

AA では 2011 年にグループ代議員になって以来、ほぼ途切れなくゼネラルサービスの役割に関わらせて頂き、今年 3 月末に全国選出常任理事・出版担当理事としての 4 年間の任期を終えたばかりです。

2020 年 3 月のコロナパンデミック以降、世界中の AA が変化を迫られました。私たちの命に関わるミーティングやサービス活動の継続のため、試行錯誤から生まれた新たなテクノロジー活用のノウハウは国や地域を超えて共有され徐々に広がりました。日本の常任理事会でもオンラインミーティング・ポータルサイト立上げのサポート、初のオンライン評議会開催など様々な取り組みがなされました。評議会、ゼネラルサービスフォーラム、地域集会や評議員を通じて、各地域やグループにおける多くの経験や新たなテクノロジーの可能性と共に、一方ではデジタル格差などの問題も共有頂きました。WSM・AOSM で分かち合われる様々な課題に対して、出版担当理事として携わったゼネラルサービスの根幹である出版事業を含め、日本の経験はきっと他国の役に立てるでしょうし、他国の経験を日本に持ち帰り参考にすることも多いだろうと感じています。

役割は変わりますが、引き続き AA 日本常任理事会の一員として、日本と世界 180 カ国以上に広がるこの共同体に少しでも役に立てるよう、引き続き精一杯務めさせて頂きます。よろしくお願いいたします。

【WSM について】

WSM は AA の共同創設者であるビル W.の「苦しんでいるアルコホーリクがどこにいて、どの言語を話していようと、”世界一つの AA”として、手助けできるようにしたい」という生前最後のビジョンに向け始まったもので、1969 年の発足以来、世界の AA の発展に関連する幅広い問題とニーズに応えるため、経験とアイデアを交換する国際的なフォーラムとして 2 年ごとに開催されています。

日本が初めて参加したのは 1986 年、グアテマラでの第9回 WSM です。そこで得た経験と提案が日本のゼネラルサービス評議会機構づくりに大いに活かされました。以降は毎回欠かさず参加し、ノンアルコホーリクの岡崎直人元 A 類理事に WSM 評議員を務めて頂いたこともあります。AA 愛に溢れた尊敬する先人たちに続いて、私が 19 人目の WSM 評議員となれたことは光栄で、責任を果たして次にバトンを渡したいと思います。

今年の第 27 回 WSM は日本開催の予定でしたが、コロナ禍の影響により前回同様フルオンラインにて 10 月 1～6 日開催となります。第 15 回 AOSM は 2023 年 7 月に対面式で開催される見込みで、開催国を調整中です。報告を楽しみにして頂ければと思います。

■（AA メンバーへ）国際協力献金のお願い

＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋

1935 年 6 月 10 日は AA 誕生記念日であり、毎年 6 月 10 日前後は国際協力献金の呼び掛け期間としています。

（国際協力献金は通年可能）

詳しくは 5 月グループ発送物や JSO ホームページをご覧ください。
（ホームページの掲載は2022年6月1日～30日）
https://aajapan.org/kenkin_kokusai/

編集：ニューズレター編集委員会・発行：ＮＰＯ法人ＡＡ日本ゼネラルサービス

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 3F　Tel:03-3590-5377　Fax:03-3590-5419
http://www.aajapan.org　　jso-1@fol.hi-ho.ne.jp
(月～金)10:00～18:00（土・日・祝）休